⑵　評価項目　工事目的物の性能・機能に関する事項の「橋梁上部工および下部工（基礎工除く）のコンクリートの品質管理」および「トンネル覆工コンクリートの品質管理」、社会的要請に関する事項の「トンネル工事における工事用車両の安全管理」、環境対策に関する事項の「河川環境（河川の汚濁抑制）対策」を評価項目とする。

なお、技術提案にあっては、施工方法及び仮設備計画に関する変更提案は可能とするが、工事目的物の変更を伴う提案やプレキャスト製品の採用など契約単価項目で支払うことが出来ない変更提案は不採用とする。

⑶　評価内容　技術提案は、評価項目毎に２提案以内とし、３提案以上の場合は、不可（不採用：０点）とする。技術提案が１提案もない場合は、標準案での施工も可とする。

なお、技術提案書の枚数は、提案数に係わらず説明図面及び写真等を含み評価項目ごとにＡ４版片面２枚以内、全体でＡ４版片面８枚以内とし、規定枚数を超えた場合は全て不採用とする。

提案は、１施工技術を用いた内容で１提案とする。ただし、複数提案を組み合わせなければ効果を発揮できないなど、一体不可分の内容となっている場合は、１提案とみなす。以下の例のような提案は複数提案とみなし、全て不採用とする。

【複数提案とみなす例】

技術提案：○○による作業従事者の安全対策

実施方法等：●●を設置する。

▲▲を実施する。

■■を配置する。

それぞれが独立した施工内容で、一体不可分でなく、１提案内に複数提案がある。

※交通保安要員の追加配置についての技術提案は不採用とする。

※車線規制に用いる規制材の追加・変更に関する技術提案は不採用とする。

※技術提案の実施において第三者協議が必要な技術提案は不採用とする。

※技術提案のうち、過度に費用がかかると発注者が判断したものは不採用とする。

工事目的物の性能・機能に関する事項

①　橋梁上部工および下部工（基礎工除く）のコンクリートの品質管理

橋梁上部工および下部工（基礎工除く）のコンクリートの品質を向上させる対策について、期待できる効果を含めて記述する。

※コンクリート配合の変更又は添加材の追加等が伴う材料自体の変更についての技術提案は不採用とする。

②　トンネル覆工コンクリートの品質管理

トンネル覆工コンクリートの品質を向上させる対策について、期待できる効果を含めて記述する。

※コンクリート配合の変更又は添加材の追加等が伴う材料自体の変更についての技術提案は不採用とする。

社会的要請に関する事項

③　トンネル工事における工事用車両の安全管理　トンネル工事におけるずり運搬時及び工事用仮橋における工事用車両の安全対策について、期待できる効果を含めて記述する。

※設計図書に示す道路に設置する安全施設類（表示板、標識、保安灯、防護柵、バリケード、照明等）の追加・変更に関する技術提案は不採用とする。

環境対策に関する事項

④　河川環境（河川の汚濁抑制）の対策

河川環境に配慮すべき事項（工事用地内から流下する雨水等による河川の汚濁抑制）とその対策について期待できる効果を含めて記述する。

※汚濁水処理設備の追加設置についての技術提案は不採用とする。

技術提案の評価指標は下記のとおりとする。

優　技術提案が適切であり、優れた工夫がみられる。

良　技術提案が適切であり、工夫がみられる。

可　技術提案が適切であるが、標準的である。

不可（不採用）　技術提案が求めた内容に合致していない、若しくは、提案内容が不適切である。

⑷　評価点の付与方法

【判定方式】

評価項目の項目別配点は、評価指標により優／良／可を判定し、判定結果に応じ次のとおり付与する。

工事目的物の性能・機能

①　橋梁上部工および下部工（基礎工除く）のコンクリートの品質管理

・技術評価点(30点)優30点・良15点・可０点

②　トンネル覆工コンクリートの品質管理

・技術評価点(30点)優30点・良15点・可０点

社会的要請

③　トンネル工事における工事用車両の安全管理

・技術評価点(20点)優20点・良10点・可０点

環境対策

④　河川環境（河川の汚濁抑制）の対策

・技術評価点(20点)優20点・良10点・可０点

⑸　落札者の決定方法　総合評価提案資料に記載された内容の評価による技術評価点に係数αを乗じた値と契約制限価格の範囲内にある入札書の価格により算定される価格評価点に0.5を乗じた値とを加算した総合評価点の最も高い者を落札者とする。

総合評価点数の算出方法は、以下のとおりとする。

①　総合評価点：（技術評価点×α）＋(価格評価点×0.5)

αの値は「0.2」とする。

②　技術評価点：各評価項目における項目別配点の合計点(満点100点)

③　価格評価点：０（０≦Ｐ＜0.5Ｌ）

((Ｐ／Ｌ×100)－50)／(Ｘ／Ｌ－0.5)(0.5Ｌ≦Ｐ＜Ｓ)

100―200（Ｐ／Ｌ－Ｘ／Ｌ)(Ｓ≦Ｐ≦1.0Ｌ)

ここに、Ｐ：入札書に記載の価格（入札価格）　Ｌ：契約制限価格　Ｘ：調査基準価格以上の最低入札価格　Ｓ：調査基準価格

ただし、入札価格が全て調査基準価格を下回る場合は、Ｘ／ＬをＳ／Ｌとする。

⑹　上記⑸において、総合評価点の最も高い者が２者以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

⑺　総合評価提案の履行に関する事項　受注者の責により、入札時の提案内容を満足できない場合は、その程度により請負工事成績評定点を最大10点減点及び契約書に基づく請負代金額の減額を行う。また、契約違反としての措置を講ずる場合がある。

４　入札手続等

⑴　担当部局　〒105―6011 東京都港区虎ノ門４－３－１城山トラストタワー11Ｆ

中日本高速道路株式会社　東京支社　総務企画部　契約チーム　電話03―5776―5600

⑵　入札説明書等の交付期間、場所及び方法

入札参加希望者には、入札説明書、入札公告の写し、契約書案、入札者に対する指示書、図面、仕様書、単価表及び割掛対象表（以下「設計図書等」という。）を交付する。

①　交付期間　平成27年３月23日（月）から平成27年６月29日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分から16時00分まで。

②　交付場所　記⑴に同じ。

③　交付方法　設計図書等はＣＤ－Ｒにより無料で交付する。なお、下記メールアドレスに申請することにより設計図書等（ＣＤ－Ｒ）を着払いにて郵送する。

メールアドレス：tokyo.cd@c-nexco.co.jp

④　郵送による交付方法　会社名、住所、代表者名、担当者名、連絡先（ＴＥＬ／ＦＡＸ／E-mail）を記入し、記４⑵③に郵送申請すること。

※件名は「図書交付希望(山北皆瀬川工事)」とすること。

⑶　申請書等の提出期間及び方法等　入札参加希望者は、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第21条の４に規定する総合評定通知書の写し（最新のものであって、審査基準日が、入札日の１年７月前の日以後のものに限る）、技術資料、技術評価資料、総合評価提案資料及び競争参加資格確認申請書、参加希望者が共同企業体を構成する場合の共同企業体協定書案（以下「申請書等」という。）を提出するものとする。なお、技術資料、技術評価資料及び総合評価提案資料は、入札説明書に基づき作成するものとする。

①　提出期間　平成27年３月23日（月）から平成27年４月22日（水）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分から16時00分まで。